

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成25年3月7日(2013.3.7)

【公開番号】特開2010-176672(P2010-176672A)

【公開日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【年通号数】公開・登録公報2010-032

【出願番号】特願2010-16733(P2010-16733)

【国際特許分類】

G 06 K 9/72 (2006.01)

【F I】

G 06 K 9/72 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年1月18日(2013.1.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

比較方法を実行するためにデジタル処理装置によって実行し得る命令を格納する持続性記憶媒体であって、

入力オブジェクトを表す順序化された入力ベクトル系列を生成するステップと、

入力ベクトル重みパラメータの順序化された系列を生成するために、前記入力オブジェクトの先駆的情報及び参照用の重みパラメータの順序化された系列を含むガウス混合モデル(GMM)モデル基準を有する参照用の半連続隠れマルコフモデル(SC-HMM)を利用して前記順序化された入力ベクトル系列をモデル化するステップと、

定量的な比較指標を生成するために、前記入力ベクトル重みパラメータの順序化された系列と、前記参照用重みパラメータの順序化された系列とを比較するステップと、

を含む比較方法を使用することを特徴とする持続性記憶媒体。

【請求項2】

前記格納された命令は、GMMモデル基準を有するSC-HMMを利用して順序化された単一の参照用のベクトル系列をモデル化することによって前記参照用のSC-HMMを生成するように実行し得ることを特徴とする請求項1に記載の持続性記憶媒体。

【請求項3】

前記格納された命令は、前記GMMモデル基準を有するSC-HMMを利用して複数の順序化された参照用のベクトル系列を含む訓練セットをモデル化することにより前記参照用のSC-HMMを生成するように実行し得ることを特徴とする請求項1に記載の持続性記憶媒体。

【請求項4】

前記格納された命令は、入力画像から順序化された特徴ベクトルの系列を抽出しつつ前記GMMモデル基準を有するSC-HMMを利用して前記順序化された特徴ベクトルの系列をモデル化することによって前記参照用のSC-HMMを生成するように実行し得ることを特徴とする請求項1に記載の持続性記憶媒体。

【請求項5】

前記格納された命令は、(I)訓練セットを生成するため対応する1つ以上の参照画像から1つ以上の順序化された特徴ベクトルの系列を抽出するとともに、(II)前記GMMモデル基準を有するSC-HMMを用いて前記訓練セットをモデル化することにより前記

参照用の S C - H M M を生成するように実行し得ることを特徴とする請求項 4 に記載の持続性記憶媒体。